

## 第7回国立市南部地域整備基本計画策定市民検討会における意見等

1. 開催日時 第7回検討会 9月30日（水） 参加者：17名

2. 道路整備計画および緑の計画について

(1) 道路整備計画

分 類		意 見 等		
主要幹線 道路	都市計画道路 3・3・15号線	都市計画道路3・3・15号線は本当に必要か。		
地域幹線 道路	石神道（都市計 画道路3・4・14 号線）	道路拡幅	石神道の拡幅（都市計画道路3・4・14号線） 生活上の不自由や安全性を考えると生活道路の拡幅が最優先になると思う。特に石神道（都市計画道路3・4・14号線）	
		整備形態 の工夫	石神道（都市計画道路3・4・14号線）は、16mの幅員で整備する必要があるか。広域的な役割もわかるが、8m程度の幅員で十分ではないか。	
		石神道は、優先的に整備するべきか、周辺の主要な都市計画道路の整備による交通の変化に期待するべきか。		
		石田街道（市道 南第26号線）	歩道拡幅	石田街道の歩道拡幅 石田街道の中央自動車道から都市計画道路3・3・15号線までの区間は拡幅すると大型車が通るので車道より歩道を優先して拡げてほしい。
	石田街道は抜け道として交通量が多くなっているにもかかわらず幅員が狭い。			
	石田街道沿いでは開発などで空いている敷地があるので買収を計画的にして拡げる計画を立ててほしい。			
	甲州街道（都市 計画道路3・4・1 号線）	歩道拡幅	都市計画道路3・3・15号線と石田街道間の甲州街道の南側の歩道拡幅	
		交通形態 の工夫	甲州街道（下り車線）からみのわ通りへ右折する車両で混むため右折を禁止し甲州街道から南側の現在一方通行になっている区間を左折可としUターン路にして甲州街道の混雑を解消してほしい。または、現在時差式信号で利用しづらいため右折信号を設置してほしい。	
		甲州街道（上り車線）から石田街道へ右折するための右折信号を設置してほしい。（設置済）		
			甲州街道から都市計画道路3・3・15号線へ右折しづらいため、右折し易い石田街道が利用されている。	

分 類		意 見 等	
生活幹線 道路	市道南第1号線	道路形態 の工夫	第七小学校の北側の通り（市道南第1号線）は歩行者の安全のために拡幅や歩車分離等の整備を行うことと、整備による交通量の増加を抑えるため一方通行のままとする等の対策を考えてほしい。
	市道南第1号線	歩道拡幅	東京女子体育大学の北側の通り（市道南第1号線）は、南側の歩道が狭いので拡幅が必要。
	市道南第52号線 同82号線		泉四丁目の道路（市道南第82号線）と谷保緑地の北側の道路（市道南第52号線）は違法駐車車両が多い。
主要な 区画道路	矢川通り（市道 西第5条線）	歩道拡幅 (区域外)	矢川通りの西保育園から北側の区間の歩道の拡幅。
	市道富士見台 第406号線	道路形態 の工夫	矢川保育園の東側の通り（市道富士見台第406号線）は歩行者の安全のために拡幅や歩車分離等の整備を行うことと、整備による交通量の増加を抑えるため一方通行とする等の対策を考えてほしい。
	市道南第1号線 46-4	道路形態 の工夫	東京女子体育大学の南側からさくら通りまでの通り（市道南第1号線46-4）は歩行者の安全のために拡幅や歩車分離等の整備を行うことと、整備による交通量の増加を抑えるため一方通行とする等の対策を考えてほしい。
			矢川保育園の北側の通り（市道南第1号線46-4）は歩行者の安全のために拡幅や歩車分離等の整備を行うことと、整備による交通量の増加を抑えるため一方通行とする等の対策を考えてほしい。
	市道南第4号線	道路形態 の工夫	第七小学校の西側の通り（市道南第4号線）は歩行者の安全のために拡幅や歩車分離等の整備を行うことと、整備による交通量の増加を抑えるため一方通行のままとする等の対策を考えてほしい。
			富士見台一丁目の道路整備は第七小学校の西側の道路（市道南第4号線）を中心に考え、まずその道路を整備して変化した交通量の状況に合わせて東西方向の道路整備の仕方を考えてほしい。
	市道南第6号線	道路形態 の工夫	洋菓子店南側の一方通行の通り（市道南第6号線）は歩行者の安全のために拡幅や歩車分離等の整備を行うことと、整備による交通量の増加を抑えるため一方通行のままとする等の対策を考えてほしい。
	ちどり道（市道 南第17号線及び 同20号線）	道路拡幅	ちどり道（市道南第17号線）は常に渋滞しているので拡幅が必要。 ちどり道（市道南第17号線及び同20号線）の拡幅
			生活上の不自由や安全性を考えると生活道路の拡幅が最優先になると思う。特にちどり道（市道南第17号線及び同20号線）
市道南第19号線	道路拡幅	青柳のハケ上道路（市道南第19号線）のみのわ通りからちどり道までの区間の拡幅	
市道南第21号線6	交通形態 の工夫	多摩川沿いの道路へ出るために南プラザ西側の道路（市道南第21号線6）の交通量が増えている。また、都市計画道路3・3・15号線から右折してくる大型車があるので右折禁止の看板を設置してほしい。	
市道南第36号線	道路と歩 道の拡幅	河川敷沿いの通り（市道南第36号線）の道路及び歩道拡幅	

分 類	意 見 等
その他の意見	道路整備計画図で選定されている生活幹線道路と主要な区画道路は常識的なものと思う。
	整備の優先度を位置づけたとしても反対の方もいると思うので、実現は難しいと思う。
	東西の道路より南北の道路を優先してほしい。
	国立を東西に貫通する道路はつくらないでほしい。
	立川方面（立川駅）に抜ける道路が必要。

(2) 緑の計画

分 類		意 見 等	
緑の保全 及び育成	農地の保全	生産緑地 の集合化	住宅地の中に点在して残っている生産緑地を土地区画整理を利用するなどして青柳崖線の周辺に集合化させることで、崖線の緑の保全にも、都市農業の保全にも繋がる。
緑の復元 及び再生	甲州街道沿道 の屋敷林	公的支援	甲州街道沿道の屋敷林の維持、保全に努めるというのは、市が保全したい屋敷林を指定し、その屋敷林の所有者が自己負担で残していくということであるなら所有者の負担が大きいので難しい。公的な財産として市が維持管理するなり、支援することを考えないと保全は難しい。
	青柳崖線	公的支援	甲州街道沿道の屋敷林を保全して、五日市街道の沿道の並木のようにしたいというイメージであるなら、実現は不可能と思うので、屋敷林の維持、保全という項目は削除した方がよいのではないかと。 ハケの保全は地権者とのかかわりが強いので地権者の負担を市がどのように対応するか課題。（買取りや減税等）
街区公園	寺之下親水公園		寺之下親水公園と泉中央遊園は利用しづらい。
近隣公園	城山公園	遊歩道 整備	城山公園の利用者が少ないのはアクセスが悪いのが原因と思われるので整備する時に行きやすい環境を考える必要がある。石神道を整備するとか、府中の遊歩道のような散策路を造ってほしい。
		維持管理	城山等の自然は、常に人間が手を入れ続けていかなければ存続していかない。
			城山公園は優先整備となっているが、現状で利用者が少ないのに優先的に整備する必要があるのか。
			城山公園は地権者と都が整備する上で市がどのようなかかわりをしていくのか。
都市緑地	谷保緑地	改善	谷保緑地は、緩衝緑地なので付近の住民の合意も必要と思うが、治安を考えるともう少し明かりの入る緑に変えるべき。
主な歩行軸		遊歩道 整備	くにたち郷土資料館の南側から城山公園南側を通り、天神公園まで繋がる遊歩道の整備。

分 類	意 見 等	
その他の意見	維持管理	公園整備と言って多くの公園を整備すると、後で維持管理に費用がかかってしまう。
		既存の公園が、維持管理できず荒地のようになっているので、新たに公園の検討も必要だが既存公園を充分活用することも必要である。
	緑の保全には、緑が減っていく原因を検証しなければならない。	
	保全をしていくことも考えて、公園・緑化についての総合的な計画を立ててほしい。	
	夜間、若者が公園を利用し、近所に騒音やゴミ等で迷惑をかけている。公園利用の仕方を考えてほしい。夜間は照明を消すことや、感知型の照明にするなど。	
公園整備は緑の計画に示された通りで良いと思う。		

(3) その他

意 見 等
南部地域に児童館がないので、南部地域整備基本計画に整備の項目を追加してほしい。